

<p>△産業宣教 世界を生かす産業人 ② - 10 日祈り運動(使 2:1-13)</p>	<p>△レムナント伝道学 時空超越システム(使 9:3)</p>	<p>△核心/散らされた弟子たち 競争者のいない再創造(使 1:8) 70 運動の現場集中(使 19:8-20)</p>			
<p>△今週は WRC を置いてどのように祈り始めなければならないのか考えなければならない。マルコの屋上の中で 10 日祈り運動したが、新しい恵みが臨み、使 2:1-13 の答えが来た。</p> <p>□序論 <u>ヘブ 10:25</u> メディア文化が発達して金土日時代が来るとヘブ 10:25 に終わりの時代、集まることをやめる条件ができる。</p> <p>△本部のメッセージを聞けば、1 単語を握るようになり、聖日講壇礼拝を通じて恵みを受け、6 日間黙想をするならば、どうなるだろう。ここにすべての答えがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人の声は全部、不信仰だ。 2. 世の中の声は全部、衣食住に過ぎないが、それだけを聞いて育てば世界福音化できない。 3. 宗教団体-宗教団体が起き始めたのだ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 無私の境地 2) ネフィリム 3) 修行 <p>集中-今回の WRC は 3 日だけでもレムナントに集中する時刻表を分かるようにすべき。完全祈りに集中しなさい。レムナントが集中したことは、一生を左右して、世界を変化させることができる。(申 6:4-9 荒野集中、I サム 7:1-15 ミツバ集中、II 列 6:8-24、バビロン、マルコの屋上の間)</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界福音化の始まり-私の中にある。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 40 日集中-神様のことが現れる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 復活されたキリスト (2) 神の国とそのこと (3) 未来に対する確信、使 2:1-13 の答え 2) 10 日-三つの祭り、カ、土台 現場で 10 日間集中。救いと聖霊の働き、御座の背景。それが三つの祭りだ。そのとき、風のような火のような力が現れ、15 か国の門が開かれた。 3) 使 2:42 礼拝回復、3 千弟子 2. 御座の経済回復-御座から与えられる経済が回復 <ol style="list-style-type: none"> 1) 5 時刻表 2) 人を通した門 3) 経済の力 3. まことの証人 <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎日まことの証人 2) 神殿、家につながる 3) 救いの門が開き始める <p>□結論 <u>イザ 55:8-9</u> 「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり」9 節に「わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い」神様はさらに大きな愛を持っておられる。</p> <p>最初一流れを見れば最初に受けた恵みがある。これを見ることができなかった人々に 40 年間、荒野で繰り返して回復させたのだ。福音を握って強大国に行って、この光を照らしてこそ 237 になる。</p>	<p>□序論</p> <p>正確な契約 ← <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">今</td></tr><tr><td style="text-align: center;">祈り</td></tr><tr><td style="text-align: center;">Trinity、(御座) 天使、3 時代</td></tr></table> → 絶対現場</p> <p>レムナントは「時空超越システム」を備えていなければならない、祈って契約を握る今、三位一体の神様の働きと御座の祝福、天使の活動が起こっていることを知らなければならない。3 時代がすべて答えに変わって来ている。</p> <p>□本論 <u>三つ</u>のこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サミットシステムセッティング-サミットシステムを祈りでセッティングしなさい。 <u>霊的状态</u> 1) 御座のサミット=御座のシステム (1) 3 つの(世、サタン、神様)国 (2) 空中の権威(エペ 2:2) -今回の WRC 主題が Heavenly Power、Talent、Mission と出てきたのが空中の権威の戦いであるためだ。 (3) 御座-御座は永遠で揺れなくて私たちのものだ。 2) 生活-編集、設計、デザイン 生活のみことばと祈りで編集して、私たちの学業をデザインすれば、重要な答えが来る。 3) ただ、唯一性、再創造-この答えが来れば学問も越えることができ、学問がなくても成功する。 <p>2. 時空超越する栄光の光セッティングすることが祈りだ。 <u>RT 7 準備</u> 1) 創 1:3、60:1-2、マタ 5:13-16、ヨハ 1:12 この祝福が光で臨むように、私に臨んだ光が現れるようにしなければならない。この光は創造の光なので、時空超越が可能だ。また、私たちに来ているので、この光、すなわちキリストを受け入れた者、信じた者は神の子どもとなる権威を与えられたと言われた。 2) ネフィリムいやし-このときからネフィリムをいやす力ができる。 3) 事実化-この光の力が私の学業、生活に事実化され始める。 <p>3. 今日を味わう最高の祝福セッティング-私たちの今日は未来で、未来はまさに今日だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 小さなこと-小さなことの中で始まりになるべき。 2) 9 の流れ-私たちは流れを変える人だ。ヨセフとダビデにこの小さなことを持って全世界の霊の流れをひっくり返すことが起こった。 3) 作品化-ネフィリムが悪霊世界を作品化したように、私たちは霊的世界を作品化すべきだ。 <p>□結論 <u>正確な契約、絶対現場</u> 私たちが礼拝をささげるたびに「正確な契約」を握って、神様が願われる「絶対現場」が私にあるならば「今、祈り、Trinity、御座(天使)、3 時代」の答えが来るようになる。</p> </p>	今	祈り	Trinity、(御座) 天使、3 時代	<p>私たちの周囲の問題を見れば、ほとんどお金に弱い。世界福音化はそのようにはいけない。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未信者-混乱経済(理念経済)未信者は混乱経済、詳しく見れば理念経済 2. 宗教団体-奴隷経済(3 団体)教会を含めて宗教団体は 3 団体について行く奴隷経済 3. RT 経済-光の経済(再創造経済)レムナント経済は光の経済、簡単に話せば再創造経済 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暗やみ世界を見る目 <u>Nobody, Nothing</u>なぜ競争者がいないのか。Nobody に行くことで何もないため <u>危機、荒地</u>危機と荒地地側に行く 1) ネフィリム ネフィリム団体が成功して世の中を征服する理由は、悪霊につかれたことを持って作品を作る 2) 霊媒師、シャーマン この人たちは実際に体験して危険な力が出てくるしかない 3) 無私の境地、修道士 無私の境地の中に入った、この修道士が世の中をみな握りしめている。 2. 回復-御座の力 <u>システム</u> 私たちに二つの生命線である祈りと呼吸でシステムを少しだけ作るとこのような時刻表が来る <u>24 24</u>。24 はシステムをしなれば変だというのが 24 になったこと <u>25(神の国)</u>すると 25、神の国のことがくる <u>永遠(御座)</u>それからは永遠という力、御座が回復する。 1) ホレブ山、シナイ山 モーセがこれを味わい始めた 2) I サム 3:1-19 幼いとき、サムエルがこの祝福と力を回復したので人が変わってしまった。 <ol style="list-style-type: none"> 3) 詩 78:7-72 山に一人にいるとき、ダビデはこれを体験した 4) II 列 6:8-24 エリシャはドタンの町でこの力を味わっていた。 5) 初代教会 初代教会が集中して入って行って(システム、24、25(神の国)、永遠(御座))を作り出した <p>3. 教会-再創造の力 <u>70 時代</u> 主のしもべは 70 時代に影響を与えることができるべき <u>70 産業</u> 重職者は 70 産業に影響が来る <u>70 作品</u> レムナントは 237、5000 種族を生かす 70 影響の作品を作るべき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カル、オリ、マル カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間は時代 70 に影響を与えるくらいのこと 2) アンテオケ 重職者が 70 産業に影響を与え始めた 3) 会堂 レムナントは 70 時代を動かす産業よりもっと大きい作品を作り出した <p>□結論 散らされた弟子- 70 運動の現場集中 <u>70 現場</u> 70 現場に集中すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まり-神の国 今も神の国が臨んで、目に見えないように三位一体の神様が働かれ、主の使いを動かし、主の働きをしておられる。これが始まり 2. 霊的勝利 <u>答え</u> どこでも表に現れずに、霊的勝利からして答えを知って待つべき <u>応答</u> しばしば答え受けようとするが、聖霊の導きを受けるだけ答えが先に出る 3. いやし いやしはすぐに 70 人に影響が及ぶ。 ・結論-主導 世界福音化は完全に神様が主導しておられる。それを見なければならず、その中に入るのだ。
今					
祈り					
Trinity、(御座) 天使、3 時代					

△区域メッセージ 10の信仰の土台と私の24(マタ7:24-27)	△聖日1部礼拝 神殿となったお墓(マコ15:42-47)	△聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝 復活の教会を建築しなさい(マコ16:14-20)
<p>□序論</p> <p>1. キリスト</p> <p>キリストは重要な三職を完成</p> <p>1) 王—まことの王 2) 預言者—まことの預言者 3) 祭司—まことの祭司</p> <p>2. 伝達(1ペテ2:9) - 「あなたがたは王である祭司。光を宣べ伝えるために召された」</p> <p>□本論</p> <p>1. 信仰—神様の主権(I歴29:10-14) 教会の働きとすべてのことをするとき、神様の主権を信じなければならない。I歴29:10-14で、ダビデが神殿建築を準備しておいて、すべてが主の御手にあると言った。</p> <p>2. 悟り—キリスト(エペ1:3) 神様はすべての方法をキリスト一つに統一されたのだ。</p> <p>3. カー—ただ聖霊(使1:8) 神様が私たちに与えられる最も大きな力が、ただ聖霊だ。</p> <p>4. 流れ—みことば(IIテモ3:14-17) 私たちが乗って行かなければならない流れは、私たちに確実な保証書として与えられたみことばだ。</p> <p>5. 区別—神殿(Iコリ3:16) 私たちは完全に違った、区別された人だ。救われた私たちが神様は神殿として、私たちを通して行くと行われた。</p> <p>6. 現場—宣教地(使18:1-4) 私たちの現場、ここがまさに宣教地だ。私たちの現場がすべてが土台だ。使18:1-4でプリスカ夫婦とパウロの出会いを見れば知ることができる。</p> <p>7. 旅程—生死禍福(詩139:1-9) 神様は私たちの旅程である生死禍福を主管しておられる。詩139:1-9に私たちの座ること立つこと、すべてを神様が知っておられる。それを知って行くことが私たちの旅程だ。</p> <p>8. 未来—限りがある(ヘブ9:27) 私たちのすべての人間は時間が決まった未来を行っている、限りのある人生で、この地を離れることが決まっている。</p> <p>9. 背景—来世(ルカ16:19-31) 私たちの背景が何でもないように見えるが必ず来世がある。それゆえ、私たちは御座の祝福を味わうのだ。</p> <p>10. 報い—伝道(マタ10:40-42) 私たちが福音を伝えて、伝道して救われた者のたましいが最高の報いだ。マタ10:40-42には「水一杯も報いに漏れませぬ」と言われていて、パウロはIコリ15章に「主にあってむだでない」と言った。</p> <p>□結論</p> <p>私たちは世界最高の立派な人々ではないが、神様から与えられる最高の答えは受けることができる。私たちは最高に実力がある人ではないが、神様から与えられる最高のことは受けることができる。</p> <p>子ども—神の子どもなので</p> <p>権威—その子どもには権威が与えられた。「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」(ヨハ1:12)</p>	<p>□序論_信仰生活をよくして、答えを受ける方法</p> <p>1. 神様の絶対計画を見つけて、その中にいれれば良い。</p> <p>1) ヨケベデ 子どもたちがみな殺されることになったとき</p> <p>2) ヨセフ 兄たちが殺そうとして売られる状況で</p> <p>3) エッサイ 戦争の中ダビデをお使いに送るほど</p> <p>2. 歴史上最悪の状況—イエス様十字架で処刑、イエス様に従う者異端決定</p> <p>1) このときに現れた人物がアリマタヤのヨセフ—イエス様のからだの下げ渡しを願ひ出</p> <p>2) アリマタヤのヨセフ—尊敬される人物、有力な議員</p> <p>3. 歴史上一度しかないことをしたアリマタヤのヨセフ</p> <p>1) 永遠という時刻表の中で、3日しかない機会に願ひ出た</p> <p>2) 正しい神殿の始まりを提供—三つの庭のない教会を叱責されたイエス様のみことば「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。(わたしは死んで三日目によみがえる)」それが神殿だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. イスラエル歴史で初めてのできごと(Nobody)</p> <p>1) 43節「神の国を待つ者」死もかかわらずイエス様のからだの下げ渡しを願ひ出 (Nobodyに挑戦)</p> <p>2) 神の国を待つ者</p> <p>(1) 創3:15が成し遂げられることを知って</p> <p>(2) 出3:18羊の血を塗った日に解放されることを知って</p> <p>(3) イザ7:14捕虜になったときインマヌエルを知っていたということ</p> <p>(4) ヨハ2:13-22イエス様がむちを打たれた、その事件を知っていたということだ。</p> <p>2. どこにもないこと(Nothing)</p> <p>1) 歴史に永遠に残る、長く残る葬式—何もできない安息日、異端の汚名を着せられて死んだので現れる人がいない、そこに尊敬される有力な議員であるアリマタヤのヨセフが王と貴族が入る岩の中の墓をイエス様にささげた。</p> <p>2) 46節「亜麻布を買い、イエスを取り降ろしてその亜麻布に包み」—祭司の服、幕屋の垂れ幕、幕屋の外の囲いの亜麻布でイエス様のからだを包む</p> <p>3) 歴史的な空の墓—イエス様の復活で永遠に証拠となった神殿</p> <p>(1) Iコリ15:3-4「聖書の示すとおり、死なれたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと」</p> <p>(2) Iコリ15:20「初穂」「今、復活されたキリストは教会を守っておられる」</p> <p>3. 墓が、すなわち三つの庭</p> <p>1) 異邦人の庭—イエス様が復活した墓が記念になって異邦人が訪ねてくる</p> <p>2) 祈りの庭—苦しい人々が訪ねて来て祈り</p> <p>3) 子どもたちの庭—多くの時代が過ぎれば、ますます人物が多くなることを学ぶようになる</p> <p>□結論_選択したのがキリストを証明する神殿に変わる働きを起こすようにしなさい</p> <p>歴史上、一度もない教会を作って私の職業を作品に作りなさい。Nobodyへ、Nothingへ行きなさい。墓を237、いやし、サミット神殿として作り出すのだ。</p>	<p>神殿建築を始めて、まず祈りについて見つけ出すべき</p> <p>空中の権威—御座—神の国(こと)—御座の祝福を味わってこそ、空中の権威の支配者に勝って神の国とそのことを成し遂げることができる。</p> <p>定期祈り、礼拝[24] 25、00—24になる前に時間を定めておいて祈るとき、礼拝が生かされて、御座の力を味わう24祈りとなる。このとき、上から与えられる根源的な力が回復して、根本いやしになる。すると25、永遠がくる。これが祈りの基準だ。この祝福を味わえば、信仰生活が成り立ち、ことばも異なる。</p> <p>三つの庭、肉納め、三団体教訓—第1、2、3神殿に三つの庭がなくて崩された。肉納めなことだけ続けて3団体の教訓について行くためだ。</p> <p>「復活の教会」—このとき、キリストが復活して重要なメッセージを与えられた。それゆえ、私たちは復活の教会を作らなければならない。</p> <p>□序論_回復すること</p> <p>1. 三つの庭に24施設</p> <p>2. 主役施設—多民族、いやし対象、レムナントが主役になる施設</p> <p>3. 24システム—システムは人だ。すべての長老の宣教事務室、見張り台を作ること</p> <p>1) 多民族 2) 病人 3) Elite—RT—彼らが来て力を受ける教会</p> <p>□本論_復活の教会</p> <p>1. 3・9・3味わう教会—三位一体の神様と御座の祝福と3時代を生かす力を味わう教会</p> <p>1) 永遠の前キリスト 2) 受肉されたキリスト 3) 復活されたキリスト</p> <p>4) 再臨主として立てられるキリスト △この祝福を味わって伝える教会</p> <p>2. 証拠三つ</p> <p>1) 全世界—万民(17節)—学業、産業、教会は全世界に福音を伝えるほど証拠</p> <p>2) 世の中—しるし(17-18節)—世の中を生かすために世の中になしるしを行ってあなたを守る</p> <p>3) 宣べ伝え—御座(20節)—あらゆるところに宣べ伝えるとき、御座につかされた主が働かれる</p> <p>3. 時代を生かすこと</p> <p>1) 1世紀遅れた契約を握っていたローマ</p> <p>2) 2世紀遅れた契約を握っていたパリサイ人、伝統教会</p> <p>3) 先を行く時代を語られたイエス様—万民、地の果ては御座の祝福で可能</p> <p>△なぜ、ただキリストなのかを説明できるべき。最後の使命は全世界の門を閉ざす教会を生かすこと</p> <p>□結論</p> <p>△信仰がないことと、かたくなな心を責められたイエス様</p> <p>1. 主のしもべと重職者が握る契約</p> <p>1) 12—世界大教区 2) 70—70地域、国、産業</p> <p>2. 7大旅程—レムナントと信徒が7大旅程に行くように</p> <p>3. タラッパン(20の戦略)—聖書にある20の伝道戦略の根であるタラッパンを正しくすれば20の戦略が出てくる。</p>